

⑬ 日本国特許庁 (J P) ⑭ 実用新案出願公開
⑮ 公開実用新案公報 (U) 昭62-3457

⑯ Int. Cl. 4 識別記号 庁内整理番号 ⑰ 公開 昭和62年(1987)1月10日
B 65 D 77/04 2119-3E
77/20 2119-3E
審査請求 未請求 (全3頁)

⑱ 考案の名称 二重容器

⑲ 実 願 昭60-96302
⑳ 出 願 昭60(1985)6月25日

㉑ 考 案 者 高 橋 英 介 横浜市金沢区東朝比奈1-21-5
㉒ 出 願 人 東洋製罐株式会社 東京都千代田区内幸町1丁目3番1号
㉓ 代 理 人 弁理士 川井 治男

㉔ 実用新案登録請求の範囲

外側容器と蓋との間に内側容器を配置して前記内側容器によって相互に隔絶される二つの内部空間を形成した二重容器であつて、前記二重容器は前記蓋を前記内側容器上の第1の貼着面に貼着されている蓋付きの内側容器の構成部分のいずれかの部分が外側容器上の第2の貼着面に貼着されており前記第1の貼着面と前記第2の貼着面とは面一若しくは重なり合う位置にあり、かつ前記蓋をその周縁側から剝離した場合に前記第2の貼着面における貼着部の方が前記第1の貼着面における貼着部よりも先に開口するように構成したことを特徴とする二重容器。

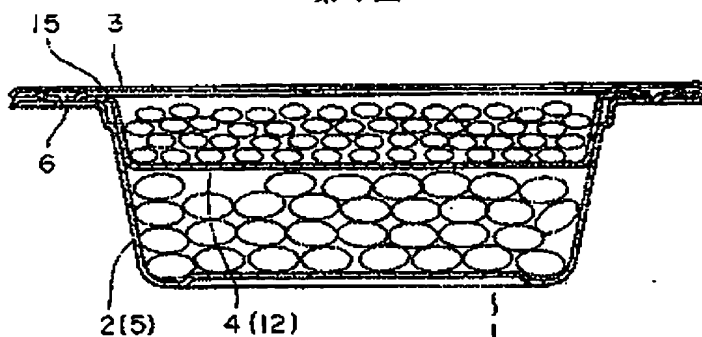
図面の簡単な説明

第1図はこの考案の一実施例に係わる二重容器を示す縦断面図、第2図は第1図に示す二重容器

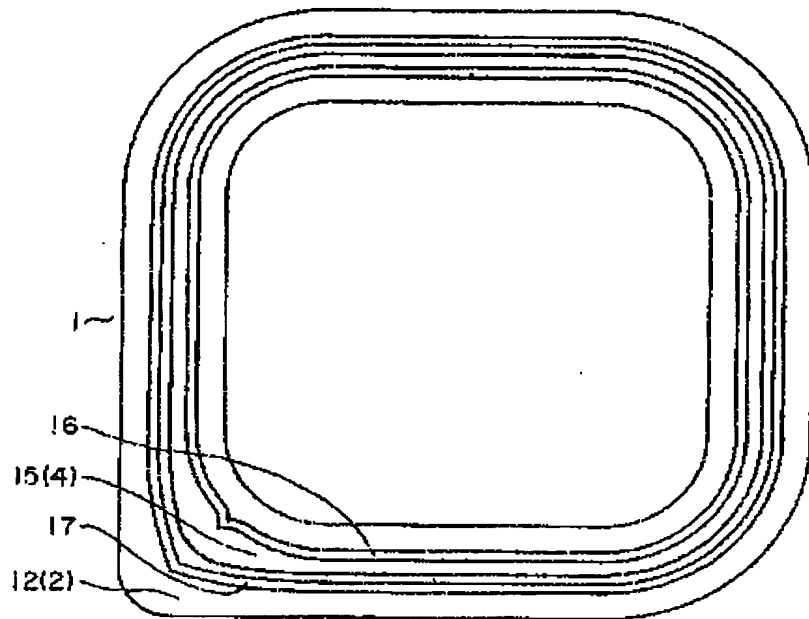
の外側容器と内側容器が嵌合した状態を示す平面図、第3図は第1図の要部拡大図、第4図aは第1図に示す二重容器の蓋を剝離する直前の状態を示す縦断面図、第4図bは第4図aに示す二重容器の外側容器が開口した状態を示す縦断面図、第4図cは第4図bに示す二重容器の内側容器が開口した状態を示す縦断面図、及び第5図はこの考案の他の実施例に係わる二重容器を示す縦断面説明図である。

1……二重容器、2……外側容器、3……蓋、4……内側容器、5……胴部、6……フランジ部、7……上端部、8……段部、11……内側部、12……外側部、13……段部、14……胴部、15……フランジ部、16……第1の貼着面、17……第2の貼着面、18……剝離方向。

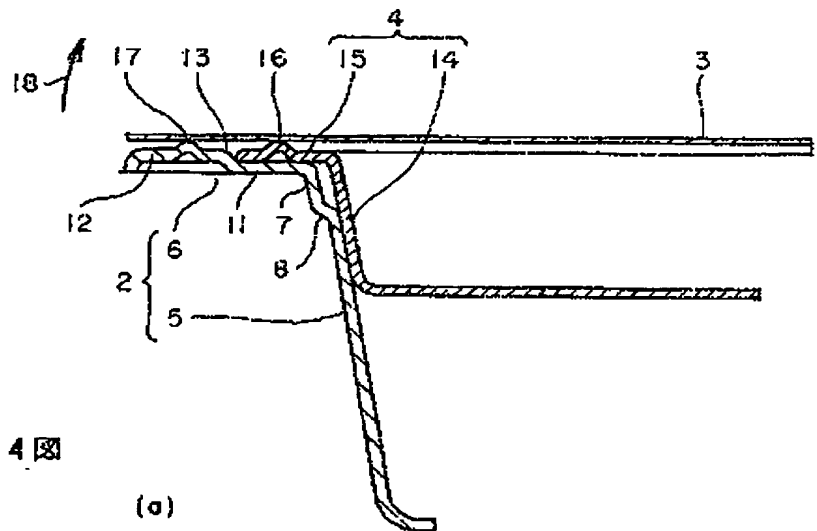
第1図



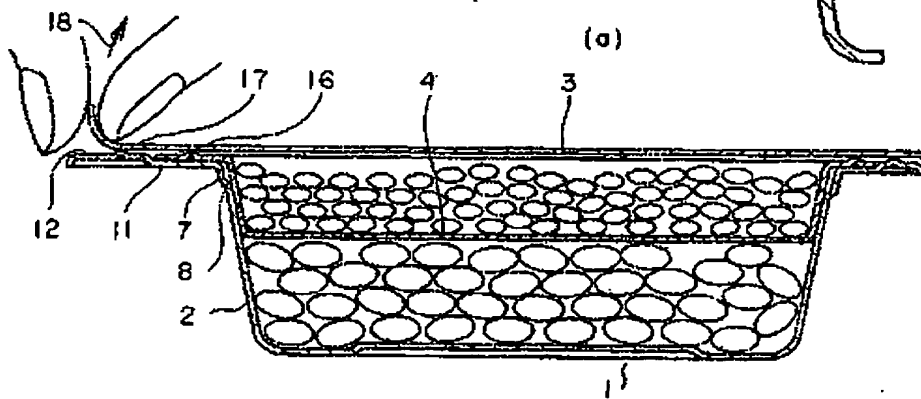
第 2 図



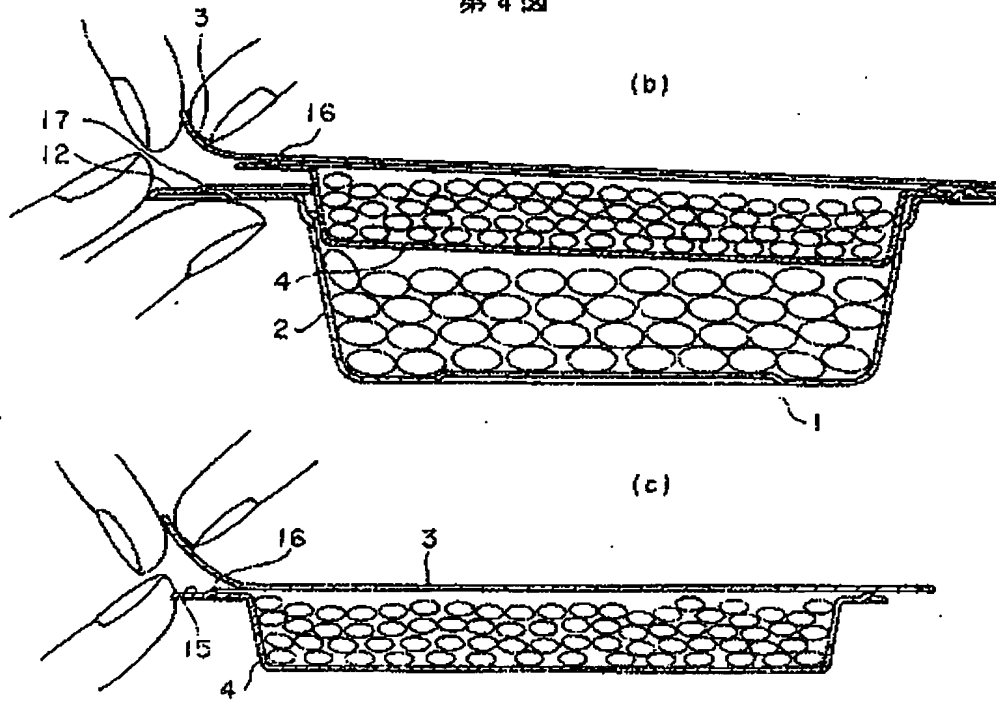
第 3 図



第 4 図



第 4 図



第 5 図

